

おおみやケアセンター 医療・介護連携推進会議 報告書

開催日時 2024年3月11日（月）9：30～11：00

場所 コープ指扇店 コーブルーム

参加者 15名

レジメ 9：30 出席者のご紹介

9：40 事業所からの報告

- ① 事業運営の運営方針
- ② 日常的なサービス提供の内容、この間対応させて頂いた利用者様
- ③ 利用者の構成（年齢、要介護度、利用年数等）
- ④ 事故やヒヤリハット（発生状況、再発防止策等）
- ⑤ 利用者や家族、地域住民からの要望・意見・苦情等
- ⑥ 職員の研修状況
- ⑦ 利用者の健康管理に係る取り組み（感染症の予防や蔓延防止のための取り組み等）
- ⑧ 非常災害対策の取り組み（消防計画や業務継続計画の策定状況、避難訓練の実施状況や予定等）
- ⑨ 地域連携の取り組み（地域行事への参加、ボランティアの受入れ等）

10：30 懇談（質疑、ご意見やご要望、ご感想等）

11：00 アンケートご記入、終了

◆懇談（質疑、ご意見やご要望、ご感想等）の内容

利用者様ご家族様

11月末から1月末までお世話になった。要介護5で車椅子であった。退院時排泄介助の方法を教わるも十分に理解することができなかった。朝昼夕と定期巡回に入ってもらい介助方法に教わった。契約したその日に転倒し連絡したら10分後に来てくれた。なによりすぐに来てくれて安心だった。現在は定期巡回は卒業したが立位保持がとれるようになるまで回復した。職員からの「頑張りすぎないでください」という言葉がありがたかった。

地域住民

コンパスウォークの通所を利用している。利用時、職員が笑顔で出迎えてくれる。

他のサービスも含めて利用している人の声を、他の人は知らないと思う。どのように伝えられていくか。

定期巡回を利用しているケアマネジャー

さいたま市の他の区でも定期巡回を利用している方を受け持っている。認知症のご夫婦でインスリンの処置が不十分であったため定期巡回の利用によりインスリンができるようになり安定している。

おおみやケアセンターの定期巡回では〇〇〇〇の病気をお持ちの方で毎日欠かさず内服する必要がある利用者様に入ってもらっている。

新規でもこれから退院する利用者様で排泄介助に入ってもらいたい利用者があるためぜひ相談し

たい。

ご高齢の認知症症状のあるご夫婦についても定期巡回を依頼したいと考えている。

地域住民（80代）

ひと月に1回受診しながら夫ともに何とか生活している。自分自身、いつ介護サービスが必要になるかわからない。定期巡回も含めどんな介護サービスがあるのか、聞く機会は多々あるものの、いざ利用することにならないとちゃんと理解できない気がする。例えば入院した場合、退院後介護サービスが必要になりそうな場合どうしたらよいか

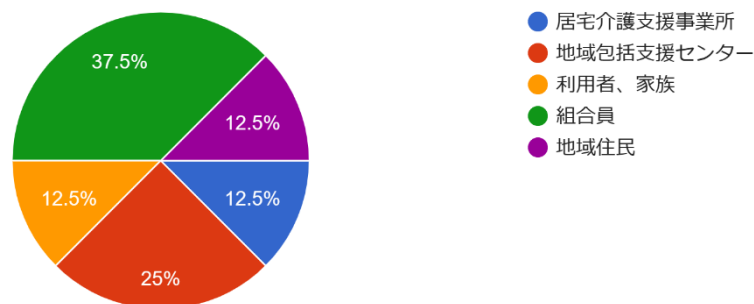
利用者様ご家族様

病院に相談員さんがいるからその人に相談する。また入院中に介護認定の申請等も行うことができるため、退院前の準備が必要

外部参加者のアンケート結果（8名）

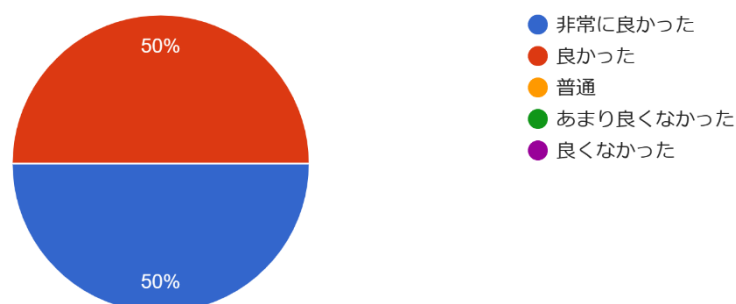
所属している事業形態またはご家族様等

8件の回答



今回の定期巡回運営推進会議の内容についてあてはまるものを選択してください。

8件の回答



上記の回答の理由をお書きください。8件の回答

利用者の事例をいくつか聞くことができ参考になりました。

事例が記録されており良かった。

定期巡回サービスやおおみやケアセンターの取り組みを理解することができた。他のヘルパー事業所への委託ができることがわかった。

事例を通してわかりやすく説明していただき良かったです。

全体像はよくわかるが個別型の問題点を取り上げポイントを絞ってそのテーマでディスカッションし内容を深めた方がよかったと思う。個別の事例の説明も大事です。

具体的な事例紹介がよかった。独居の看取り、ペンダントコールを握って最期を迎えられたお話しは身につまされた。

おおみやケアセンターの運営方針やサービス提供に関するなどが詳しくわかりました。運営委員会の学習会に取り入れられたらと思います。

その他、ご感想やご意見、おおみやケアセンターへのご要望等、なんでも結構ですでお聞かせください。4 件の回答

地域のケアマネジャーや地域包括支援センターの職員の話を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

医療懇談会の件、直接関係あるのかどうか。懇談会では定期的に高齢者の予防医学からの視点で話をしてほしい。

非常災害の取り組みについて利用者とケアマネとで共有していきたいです。

まとめ

今回の事業所報告をとおして、提供しているサービスの内容等を明らかにすることができた。

サービスの質を確保することについて、定期巡回サービスの認知度が低いため、学習や情報提供の機会を確保する（地域住民、ケアマネ）また、そもそも介護保険制度やサービスの利用についての理解を深めるために定期的な学習の機会が必要であると感じた。例えば以下

- ・地域住民に向けた介護保険制度の学習会（定期的に繰り返し行う）
- ・ケアマネに向けた、定期巡回利用事例の紹介（定巡たよりの毎月の発行、このような利用の仕方ができて在宅生活を継続することができています、のような内容）
- ・幅広く定期巡回サービスを提供できるためにも、他の訪問介護事業所への委託契約をすすめる

以上